

三信興業は持続可能な開発目標への取り組みを行っています

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

～SDGs取り組み事例～

当社では6つの目標を重点に掲げ、総合建設業として地域・環境・生活に密接に関わり合っていることを全社員が認識し、世界共通の課題の解決を支援すべく継続的に取り組んでいきます。

環境 6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する



- 建設現場に快適トイレの設置を推進し、衛生的な労働環境を推進していきます。



社会 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する



- 健康診断の定期的な受診により社員の健康増進に努めます。



4. すべての人々へ包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する



- 資格取得支援制度、講習会の積極的参加により、ひとりひとりのスキルアップを目指します。



経済 8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する



- 地域に根差す企業として地元から 新卒・中途採用を積極的に行っています。



1. 包摂的で安全かつ強靭（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する



- 降雪時の除雪作業によりライフラインの確保 及び地域住民の安全安心な 社会づくりに貢献します。
- 有給休暇の取得率の向上や、毎週1日 ノー残業デーを導入して、社員のワーク・ライフ・バランスの充実を実現していきます。

